

第3分科会 「カリスマな活動から 地域それぞれの在り方を探る」



(公財)ダイヤ高齢社会研究財団
澤岡詩野
sawaoka@dia.or.jp

人生100年、『長寿命化』がもたらしたこと

表2 平均寿命の年次推移

(単位：年)

和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
13	78.07	84.93	6.86
14	78.32	85.23	6.91
15	78.36	85.33	6.97
16	78.64	85.59	6.95
17	78.56	85.52	6.96
18	79.00	85.81	6.81
19	79.19	85.99	6.80
20	79.29	86.05	6.76
21	79.59	86.44	6.85
22	79.55	86.30	6.75
23	79.44	85.90	6.46

1950年⇒1970年⇒2014年

2025年 2060年

男性：

59.6歳⇒69.3歳⇒80.2歳

81.5歳 84.2歳

女性：

62.9歳 74.7歳 86.6歳

88.2歳 90.9歳

終の棲家であるはずの「地域社会」の今

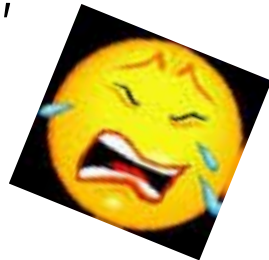
住民の助け合い組織，町内会，子ども会，老人会の加入率低下
近所との付き合いはゴミ捨てだけで，ほとんど交流がない
高齢化が著しく進み町内会が成立しない，

- 人口密集地域の新宿区や渋谷区でも「限界集落」が出現
買い物難民，死亡して半年間も発見されない「孤独死」
など，問題は山積み
- 駅前からコンビニが消えるのは危険信号・・・

* **限界集落**：人口の50%が65歳以上の高齢者になり，
冠婚葬祭など生活の維持が困難になった集落

- かつては地方の問題であった

地域崩壊が招くもの：犯罪率増加，孤独死・孤立死，
自殺の増加，買い物難民，児童虐待の増加，
災害時対応の遅れ，病院など公的施設や交通など未整備



みんなに居場所と出番を！ 「富山型デイサービス」

高齢者や子ども，赤ちゃん，障がいがあってもなくても，**いろんな人たちが一緒に**楽しく過ごす

みなでお茶を飲んだり，おしゃべりしたり，ご飯を食べたり，
テレビを見たり，**なにげない普通の日常生活**を大事に

民家を改装して作った小さい普通の家

自分の住んでいる普通の民家がバリアフリーになり，生活や介護もしやすくなった場

病院や老人ホームなどの施設ではない居場所を作りたいという
看護師さん達が退職金で平成5年に仲間と立ち上げ

今では富山県独自の取り組みとして全国に普及しつつある
障がいをもつ人が運営担う職員になったり，高齢者が子どもの面倒を見たり，すべての人にできること，役割がある

➡新たな就労の形を模索中！

*デイサービスとは？

:施設に入所するではなく，昼間に日帰りで利用できる
通所介護サービス

:**法制度が別なこともあり，一般的に年齢や障がい者で区別**

指定
就労継続支援
B型事業所

はたらくわ

◆平成25年4月開所◆

🎵「はたらくわ」って？

- ▼富山型デイサービスで働いている障がい者（施設外就労）を職員が巡回して支援します。定員は20名です。
- ▼それぞれの事業所に働きやすい環境づくりなどの助言をします。
- ▼「はたらくわ」の「わ」は、“和”の仲むつまじい、“輪”のまるくなる、つながる、つなぐという意味をこめています。

「働く」

（就労継続支援B型）

身近にある富山型デイサービスで働きます。
掃除、食事の補助、食器洗いなどが仕事です。

🎵 障害者総合支援法で「働く」

●在宅生活している障がい者

障がい者が受け取る報酬は、就労先の富山型デイや仕事の内容により異なります。



🎵「はたらくわ」事務所

特定非営利活動法人デイサービス

このゆびとーまれ

〒930-0928 富山県富山市富岡町 355

TEL/FAX 076-493-0765

メール konoyubi@r9.dion.ne.jp

管理者 惣万佐代子

サービス管理責任者 山口 賢一

地域がつながる！

おおた高齢者見守りネットワーク「みま～も」

地域住民，商店，サービス事業所，医療機関など**様々な人たち**による**見守り，支えあい**により，高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりをめざして平成20年5月にスタート

運営は牧田総合病院が運営する地域包括支援センター



- ・地域づくりセミナー開催

医療，介護，いきがい，災害など多様なテーマで毎回100名程度の地域のアクティブシニアが参加

ネットワーク会員事業者などが運営補助

- ・高齢者みまもりキーホルダー(平成24年から区の施策に)

外出先で倒れたり，徘徊などの際に本人確認ができる

- ・みま～もステーション 商店街と共同で行うサロン事業

歴史，パソコン教室などの講座，レストラン，喫茶

- ・公園の管理委託 児童公園を多世代交流の場に

高齢者有志が管理ボランティア，体操，ウォーキング講座

お客さんをつくらない
全ての人に
「居場所」と
「出番」を

受け手でもあり担い手にもなれる 「公園ボランティア」「ミマモリ食堂」

荒れ果てた「公園」を自らの手で
皆が集う居場所に

- 忘れられた荒れ果てた公園
- 健康器具が入り、皆の集う場に
- 自分たちの居場所は自分たちで綺麗に！
- お祭りや野菜作りの達人を中心にした農園
(子ども達との世代間交流)



味はもちろん、接客が自慢
「元気かあさんのミマモリ食堂」

- 始まりは「みま～もレストラン」

栄養士さんから学びながら、皆で楽しく会食

- そこに集う腕自慢、喋り自慢のかあさん達が
立ち上がり、金曜日限定で食堂を開設

➡見守られる側でもあり、担い手でもある

「元気かあさんのミマモリ(みま～も)食堂」
～いつでも・誰でも気軽に集い
笑顔になれる場所～

元気かあさんたちとおしゃべりしながら、楽しい時間を
過ごしませんか。気軽に立ち寄れて、何げないおしゃべり、
ゆっくりと過ごしてもらえて、心がほっこりできる...
そんな場所です。ぜひ一度お立ち寄り下さい。

◆日時: 毎週金曜日 11:00～13:00
(ラストオーダー12:30)

◆場所: アキナイ山王亭
(柳本通り商店街 カドヤ食品3軒隣)

◆1食500円 限定20食の提供となります。



本日のメニュー

- ・おにぎり (ゆかりご飯)
- ・白身魚のあんかけ
- ・アスパラの梅肉和え
- ・なすのお味噌汁

専門家に気軽に相談できる！ 「暮らしの保健室」

高齢化率が45%を超え、相談できる血縁もいない一人暮らしが多く住む新宿区戸山ハイツ

開設したのは訪問看護ステーションを続けていた看護師さん
病院や地域包括支援センターに行くほどでもない

なにを困っているのかすらもわからない

日常生活にはそんな事のほうが多いはず

地域で暮らす中で大切な事は、重篤化・深刻化する前の段階
子どもから高齢者までが抱える日常生活におけるちょっとした
不安を、気軽に近所で解決できる場が必要

医療や介護などの専門家が不安の種を見つけ出したり、解決
できる場につなげる場を目指し2011年9月に開設

➡目指しているのは、病気でなくても来られる、おしゃべりだけでも大歓迎な「保健室」の様な居場所

専門家にできないことを担うのは 「地域の住民ボランティア」

医療や介護の専門知識を持つ専門家が苦手なこと
➡丁寧に取り付き、同じ目線で困りごとを引き出すこと
傾聴のトレーニングを受けた住民ボランティアが常駐し、話し相手
やお茶出しなどを担当
引き出した困りごとや気づいた変化を専門家につなぐことで、**早期発見につながる**

住民ボランティアにも良い効果が生まれている

肩の力をいれずに
遊びにきている感覚
家以外の居場所が
できた
仲間に会えて、自分
が楽しいから

お茶を飲みながらゆったりすごせる 地域のみなさまに開かれた場所です



健康や地域医療、
介護に関する勉強会を
開催します



ボランティアスタッフが
お迎えします
地域の医療機関の検索も
できます

薬剤師がお薬の
飲み合わせの
相談に応じます
(金曜午前中)



「ないなら作ってしまおう！」 こんな思いから始まった先駆者達の挑戦

残念なのは……

全国から視察が訪れはするものの感想は、

「素晴らしい！、でもね……、

うちではこんなすごいことはできない」と無いものを数え上げる



今回のパネリストに共通するのは、

自治体に依存ではなく、連携するパートナーとしてのつながりを構築

規制の枠組みに捉われず、多世代で多様なつながりづくりを目指す

カリスマを完全にコピーするのではなく、まずはできる範囲で自分の地域の在り方を柔軟に模索